

東京女子大学 現代教養学部「履修の手引」
〔2024 年度入学者に適用〕
(2024 年度)冊子 正誤表

2024 年 6 月 学務課

◆訂正

頁	正	誤
P.15	第 58 条 2 次の科目は、再試験の対象とはしない。 AI・データサイエンス科目 <u>(削除)</u>	第 58 条 2 次の科目は、再試験の対象とはしない。 AI・データサイエンス科目 <u>2018 年度以降入学者に適用:挑戦する知性科目</u>
P.23	(8) 自由選択科目 ⑪教職課程科目のうち次の科目 「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、 「教育社会学」、「特別支援教育」	(8) 自由選択科目 ⑪教職課程科目のうち次の科目 「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、 「教育社会学」、「 <u>教育課程論</u> 」、「 <u>教育方法論 (ICT の活用を含む)</u> 」、「 <u>特別支援教育と社会福祉</u> 」、「特別支援教育」
P.25	(8) 自由選択科目 ⑪教職課程科目のうち次の科目 「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、 「教育社会学」、「特別支援教育」	(8) 自由選択科目 ⑪教職課程科目のうち次の科目 「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、 「教育社会学」、「 <u>教育課程論</u> 」、「 <u>教育方法論 (ICT の活用を含む)</u> 」、「 <u>特別支援教育と社会福祉</u> 」、「特別支援教育」
P.38	発展演習 211302 Critical Thinking 「専攻指定」欄 国際英語 <u>(削除)</u> 【2024/6/17 追加】	発展演習 211302 Critical Thinking 「専攻指定」欄 国際英語※
	注 <u>5 (削除)</u>	注 <u>5 ※「Critical Thinking」は、キャリア・イングリッシュ課程を登録している人文学科、国際社会学科、心理・コミュニケーション学科、数理科学学科の学生で必要が認められた場合は、専攻指定にかかわらず履修することができる。</u>

P.39

正

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15 週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・ 選択の別	学科共通/ 専攻の区分
<u>411001</u>	音楽芸術	1	2	2	選択	<u>哲学</u>
<u>411002</u>	音楽史	1	2	2	選択	<u>哲学</u>
<u>411003</u>	宗教学	1	2	2	選択	<u>哲学</u>

誤

授業科目コード	授業科目	授業期間 (15 週単位)	毎週 授業時間	単位数	必修・選択必修・ 選択の別	学科共通/ 専攻の区分
<u>410001</u>	音楽芸術	1	2	2	選択	<u>(哲学科)</u>
<u>410002</u>	音楽史	1	2	2	選択	<u>(哲学科)</u>
<u>410003</u>	宗教学	1	2	2	選択	<u>(哲学科)</u>

頁	正	誤
P.42	221325 文理融合演習 A 備考欄 <u>(削除)</u> 221326 文理融合演習 B 備考欄 交互に開講 <u>(削除)</u>	221325 文理融合演習 A 備考欄 <u>数理科学科と共有</u> 221326 文理融合演習 B 備考欄 交互に開講 <u>数理科学科と共有</u>
P.43	232104 経済数学 備考欄 <u>(削除)</u>	232104 経済数学 備考欄 <u>数理科学科と共有</u>
P.44	232209 ゲームの理論 備考欄 <u>(削除)</u> 232234 経営ファイナンス論 備考欄 <u>(削除)</u>	232209 ゲームの理論 備考欄 <u>数理科学科と共有</u> 232234 経営ファイナンス論 備考欄 <u>数理科学科と共有</u>
P.45	必修・選択必修・選択の別欄 コミュニティ構想専攻は 12 単位必修	必修・選択必修・選択の別欄 コミュニティ構想専攻は 12 単位 <u>選択</u> 必修

頁	正	誤
P.51	461601 情報数理科学講究 1 備考欄 週 2 コマ 14 クラス 461602 情報数理科学講究 2 備考欄 週 2 コマ 14 クラス	461601 情報数理科学講究 1 備考欄 通年科目 14 クラス 461602 情報数理科学講究 2 備考欄 通年科目 14 クラス
P.61	<u>女性の生きる力科目</u> 《履修に関する助言》女性の生きる力科目は、〔中略〕科目です。アクティブ・ラーニング科目やキャリア科目、グローバル科目など特徴的な学びを取り入れた科目を数多く取り揃えていますので、 <u>全学共通カリキュラムハンドブック末尾のカリキュラムマップ</u> を参考にしながら、積極的に履修してください。	<u>女性の生きる力科目</u> 《履修に関する助言》女性の生きる力科目は、〔中略〕科目です。アクティブ・ラーニング科目やキャリア科目、グローバル科目など特徴的な学びを取り入れた科目を数多く取り揃えていますので、 <u>ハンドブック末尾のカリキュラムマップ</u> を参考にしながら、積極的に履修してください。
P.83	■全学共通カリキュラムとの関連について 第二外国語科目：特に言語を指示しませんが、〔中略〕学習を始めることを勧めます。また、1 年次必修科目だけではなく、選択科目である読解、会話、 <u>総合</u> も積極的に履修しましょう。	■全学共通カリキュラムとの関連について 第二外国語科目：特に言語を指示しませんが、〔中略〕学習を始めることを勧めます。また、1 年次必修科目だけではなく、選択科目である読解 A、読解 B、作文と文法、 <u>会話</u> も積極的に履修しましょう。
P.111	(8) 自由選択科目 ①教職課程科目のうち次の科目 「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、「教育社会学」、「特別支援教育」	(8) 自由選択科目 ①教職課程科目のうち次の科目 「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、「教育社会学」、「 <u>教育課程論</u> 」、「 <u>教育方法論 (ICT の活用を含む)</u> 」、「 <u>特別支援教育と社会福祉</u> 」、「特別支援教育」
P.112	(8) 自由選択科目 ①教職課程科目のうち次の科目 「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、「教育社会学」、「特別支援教育」	(8) 自由選択科目 ①教職課程科目のうち次の科目 「教職論」、「教育原論」、「教育心理学」、「教育社会学」、「 <u>教育課程論</u> 」、「 <u>教育方法論 (ICT の活用を含む)</u> 」、「 <u>特別支援教育と社会福祉</u> 」、「特別支援教育」
P.113	【前期】履修科目登録の流れ ②専攻・年次別ガイダンス ・アドバイザーの助言 参照：X <u>V</u> -3. アドバイザーとの面談 【2024/6/17 追加】	【前期】履修科目登録の流れ ②専攻・年次別ガイダンス ・アドバイザーの助言 参照：X <u>IV</u> -3. アドバイザーとの面談
P.114	⑤前期成績の通知 ・アドバイザーの助言 参照：X <u>V</u> -3. アドバイザーとの面談 【2024/6/17 追加】	⑤前期成績の通知 ・アドバイザーの助言 参照：X <u>IV</u> -3. アドバイザーとの面談

頁	正	誤
P.115	1. 履修登録 ●後期のみの授業科目も含め当年度のすべての履修科目の登録を前期の履修科目登録・登録訂正期間に行います。 ●履修登録・登録訂正の結果、以下に該当する授業科目は、その年度は閉講とします。 <u>追加登録を含む履修科目登録・登録訂正の結果、履修（登録）者が0名となった授業科目</u> <u>年度始めの履修登録・登録訂正の結果、履修者が0名となった後期の授業科目は、その年度は閉講とします。閉講となった後期の授業科目は、後期登録訂正期間に追加登録することができません。</u> <u>以下は、2024年度以降入学者に適用の全学共通カリキュラムおよび数理科学科の学科科目についてのみ</u> <u>【前期・通年・集中講義の授業科目】</u> <u>年度始めの「履修科目登録・前期登録訂正期間」（追加登録を含まない）における履修登録の結果、履修者が3名以下となった授業科目は、その年度は閉講とします。この場合、追加登録期間に追加登録することはできません。</u> <u>【後期の授業科目】</u> <u>後期始めの「後期登録訂正期間」（追加登録は含まない）における履修登録訂正の結果、履修者が3名以下となった授業科目は、その年度は閉講とします。この場合、追加登録期間に追加登録することはできません。</u>	1. 履修登録 ●後期のみの授業科目も含め当年度のすべての履修科目の登録を前期の履修科目登録・登録訂正期間に行います。 <u>後期の授業科目についても、原則として前期に履修登録してください。前期の履修登録・登録訂正の結果、履修者が0名となった後期の授業科目は、その年度は閉講とします。閉講となった授業科目は、後期登録訂正期間に追加登録することができません。</u>

頁	正	誤
P.115	登録した授業科目の確認 ●教職課程、学芸員課程、公認心理師課程、日本語教員養成課程、副専攻の課程登録を行っている場合は、「資格自己判定」を行い判定結果に「不足」がないことを確認してください。	登録した授業科目の確認 ●教職課程、学芸員課程、公認心理師課程、日本語教員養成課程、 <u>キャリア・イングリッシュ</u> 課程、副専攻の課程登録を行っている場合は、「資格自己判定」を行い判定結果に「不足」がないことを確認してください。
P.116	ループリック ループリックは〔中略〕4年次への進級条件科目及び卒業研究（卒業論文、Final Presentation、 <u>情報数理学</u> 講究1・2）についてシラバスの成績評価基準を補完するものとしてループリックが公開されています。〔以下略〕	ループリック ループリックは〔中略〕4年次への進級条件科目及び卒業研究（卒業論文、Final Presentation、 <u>情報数理学</u> 講究1・2）についてシラバスの成績評価基準を補完するものとしてループリックが公開されています。〔以下略〕
P.122	13. 休学・やむをえない事由による履修登録の取消 【病気、負傷等のやむをえない事由により授業に出席できなくなった場合】 ①その学期の〔以下略〕 ＊すべての授業科目の〔中略〕数えられません。（「 <u>XIV</u> -3.進級」の項参照）	13. 休学・やむをえない事由による履修登録の取消 【病気、負傷等のやむをえない事由により授業に出席できなくなった場合】 ①その学期の〔以下略〕 ＊すべての授業科目の〔中略〕数えられません。（「 <u>XIII</u> -3.進級」の項参照）
P.135	2. 成績評価 成績評価と単位取得 成績評価の結果、合格の場合には、単位が与えられます。 <u>成績評価は学籍が「在学」の学生を対象とします。</u>	2. 成績評価 成績評価と単位取得 成績評価の結果、合格の場合には、単位が与えられます。 <u>（追加）</u>
P.135	2. 成績評価 成績評価と単位取得 〔集中講義による授業科目〕 後期末に成績評価、単位の認定を行います。後期の学籍が休学、留学の学生は、 <u>集中講義の履修を取り消すため、成績評価、単位の認定を行いません。</u>	2. 成績評価 成績評価と単位取得 〔集中講義による授業科目〕 後期末に成績評価、単位の認定を行います。 <u>（追加）</u>

頁	正	誤
P.138	<前期>表下 <後期> 下記表追加	<前期>表下 <u>(追加)</u>

年度末 卒業見込者	<u>後期科目、集中講義による授業科目または通年科目の不合格により、卒業要件を欠いた者</u> <u>ただし、再試験を受験し合格した者は除く</u> <u>卒業論文または Final Presentation の不合格により、卒業要件を欠いた者</u>	3月中旬 に通知
--------------	--	-------------

P.155	表最下部 注 1 <u>2 年次以上で教職課程科目（「教職論」を除く。）を履修するには、所定の教職課程登録を行っていないなければならない。</u> <u>2 「教育実習」を履修するには、以下の科目を含む上記教職課程科目 27 単位を 3 年次修了までに修得していなければならない。</u> <u>各教科の指導法 6 単位、「教職論」2 単位、「特別支援教育」2 単位、「教育課程論」2 単位、「教育相談」2 単位、「教育方法論（ICT の活用を含む）」2 単位、「教育実習事前事後指導」1 単位</u> <u>3 「教育原論」「教職論」「教育社会学」「教育心理学」及び「特別支援教育」の単位は、自由選択科目の単位として数えることができる。それ以外の授業科目の単位は、自由選択科目の単位として数えることはできない。</u> <u>4 介護等の体験を行うためには、「特別支援教育」2 単位を介護等の体験を行う年度の前年度末までに修得していなければならない。</u>	表最下部 <u>(追加)</u>
-------	--	--------------------------------

頁	正	誤
P.156	人文学科哲学専攻 宗教 宗教学 本学教育課程中の科目欄 宗教学（1科目2単位必修） キリスト教学入門Ⅰ・Ⅱ（2科目4単位必修） キリスト教学概論 〔以下略〕	人文学科哲学専攻 宗教 宗教学 本学教育課程中の科目欄 （追加） キリスト教学入門Ⅰ・Ⅱ（2科目4単位必修） キリスト教学概論 〔以下略〕
P.157	人文学科哲学専攻 歴史文化専攻 社会（中1） 「哲学、倫理学、宗教学」 本学教育課程中の科目欄 （削除）	人文学科哲学専攻 歴史文化専攻 社会（中1） 「哲学、倫理学、宗教学」 本学教育課程中の科目欄 （1科目2単位選択必修）
P.160	国際社会学科 公民（高1） 「哲学、倫理学、宗教学」 本学教育課程中の科目欄 哲学概論（人文学科科目）（1科目2単位必修） 倫理学概論（人文学科科目） <u>宗教学（人文学科科目）</u> 宗教人類学 〔以下略〕	国際社会学科 公民（高1） 「哲学、倫理学、宗教学」 本学教育課程中の科目欄 哲学概論（人文学科科目）（1科目2単位必修） 倫理学概論（人文学科科目） <u>宗教学（追加）</u> 宗教人類学 〔以下略〕
P.161	国際社会学科国際関係専攻 経済学専攻 社会学専攻 公民（高1） 「哲学、倫理学、宗教学」 本学教育課程中の科目欄 哲学概論（人文学科科目）（1科目2単位必修） 倫理学概論（人文学科科目） <u>宗教学（人文学科科目）</u> 宗教人類学 〔以下略〕	国際社会学科国際関係専攻 経済学専攻 社会学専攻 公民（高1） 「哲学、倫理学、宗教学」 本学教育課程中の科目欄 哲学概論（人文学科科目）（1科目2単位必修） 倫理学概論（人文学科科目） <u>宗教学（追加）</u> 宗教人類学 〔以下略〕
P.163	3. 免許法施行規則第66条の6に定める科目 免許法施行規則 第66条の6に定める科目欄 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	3. 免許法施行規則第66条の6に定める科目 免許法施行規則 第66条の6に定める科目欄 数理、データ活用及び人工知脳に関する科目又は情報機器の操作

頁	正	誤
P.169	日本語教員養成課程の到達目標 キリスト教を基盤とした <u>リベラルアーツ</u> 教育を教育の根幹とし、〔以下略〕	日本語教員養成課程の到達目標 キリスト教を基盤とした <u>リベラル・アーツ</u> 教育を教育の根幹とし、〔以下略〕
P.173	コミュニケーション能力 授業科目欄 Academic Discussion Skills A** Academic Discussion Skills B** Exploring Content : <u>Listening/Speaking</u> A** Exploring Content : <u>Listening/Speaking</u> B** Presenting Research 〔以下略〕	コミュニケーション能力 授業科目欄 Academic Discussion Skills A** Academic Discussion Skills B** Exploring Content : <u>A**</u> <u>Listening/Speaking B**</u> Presenting Research 〔以下略〕
P.180	1. キリスト教学副専攻 本学はキリスト教精神に立つ <u>リベラルアーツ</u> 教育を通して人格を育成することを理念とする。	1. キリスト教学副専攻 本学はキリスト教精神に立つ <u>リベラル・アーツ</u> 教育を通して人格を育成することを理念とする。
P.183	2. 女性学・ジェンダー副専攻 女性学は〔中略〕ねらいである。東京女子大学の <u>リベラルアーツ・エデュケーション</u> の伝統を創造的に継承し、現代社会の課題に応える上で、女性学の果たす役割は大きい。言い換えれば〔中略〕展開している。そのような活動との有機的関連をはかりつつ、学生がそれぞれの関心に応じて、全学共通カリキュラム、学科科目から女性学的視点を取り入れた科目を履修することで、 <u>リベラルアーツ・エデュケーション</u> の成果をより豊かにすることを期待している。	2. 女性学・ジェンダー副専攻 女性学は〔中略〕ねらいである。東京女子大学の <u>リベラル・アーツ・エデュケーション</u> の伝統を創造的に継承し、現代社会の課題に応える上で、女性学の果たす役割は大きい。言い換えれば〔中略〕展開している。そのような活動との有機的関連をはかりつつ、学生がそれぞれの関心に応じて、全学共通カリキュラム、学科科目から女性学的視点を取り入れた科目を履修することで、 <u>リベラル・アーツ・エデュケーション</u> の成果をより豊かにすることを期待している。
P.184	●女性学・ジェンダー副専攻 教育課程 ■女性・ジェンダーと人間文化・歴史 日本現代文学 B ジェンダーとメディア 女性と生命倫理 <u>(削除)</u> アメリカ研究 (社会史) I アメリカ研究 (社会史) II	●女性学・ジェンダー副専攻 教育課程 ■女性・ジェンダーと人間文化・歴史 日本現代文学 B ジェンダーとメディア 女性と生命倫理 <u>キリスト教学Ⅱ (キリスト教と女性)</u> アメリカ研究 (社会史) I アメリカ研究 (社会史) II

頁	正	誤
P.186	●女性学・ジェンダー副専攻 教育課程 ■女性・ジェンダーと人間文化・歴史 日本現代文学 B ジェンダーとメディア 女性と生命倫理 (削除) アメリカ研究 (社会史) I アメリカ研究 (社会史) II	●女性学・ジェンダー副専攻 教育課程 ■女性・ジェンダーと人間文化・歴史 日本現代文学 B ジェンダーとメディア 女性と生命倫理 <u>キリスト教学 II (キリスト教と女性)</u> アメリカ研究 (社会史) I アメリカ研究 (社会史) II
P.195	●AI・データサイエンス教育プログラム オプション科目 DS のための数学入門 <u>コンピュータ・サイエンス I</u> <u>コンピュータ・サイエンス II</u> 情報と社会 〔以下略〕	●AI・データサイエンス教育プログラム オプション科目 DS のための数学入門 <u>コンピュータサイエンス I</u> <u>コンピュータサイエンス II</u> 情報と社会 〔以下略〕
P.210	(1) 病気、けが、忌引で授業を欠席する場合 ●欠席が長期にわたる場合は〔中略〕 登録の取消については、「II－13.休学・やむをえない事由による履修登録の取消」の項を参照してください。 また、休学については、「XIV－4.休学」の項を参照してください。 【2024/6/17 追加】	(1) 病気、けが、忌引で授業を欠席する場合 ●欠席が長期にわたる場合は〔中略〕 登録の取消については、「<u>II－14.登録の訂正</u>/II－13.休学・やむをえない事由による履修登録の取消」の項を参照してください。 また、休学については、「XIII－4.休学」の項を参照してください。

2024 年 6 月 11 日作成

2024 年 6 月 17 日更新